

**製品名:** ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21106

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	メチル化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:15kD;Observed MW:17kD

**抗原情報**

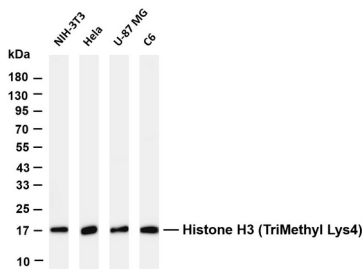
遺伝子名	HIST1H3A
別名	H3K27ME2;HIST1H3A;H3FA;HIST1H3B;H3FL;HIST1H3C;H3FC;HIST1H3D;H3FB;HIST1H3E;H3FD
遺伝子 ID	8350.0
SwissProt ID	P68431
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成メチル化ペプチド

**背景**

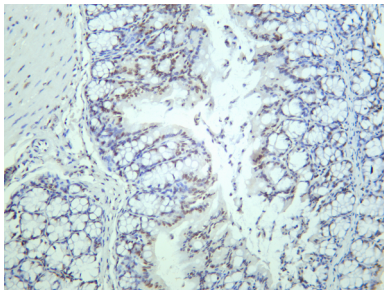
細胞局在: 核。染色体。ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。この構造は、約 146 bp の DNA がヌクレオソームに巻き付いて構成されています。ヌクレオソームは、4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) がそれぞれ対になって構成される八量体です。クロマチン繊維は、リンカーヒストン H1 とヌクレオソーム間の DNA との相互作用によってさらに凝縮され、高次のクロマチン構造を形成します。この遺伝子はイントロンを含まず、ヒストン H3 ファミリーに属する複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子からの転写産物はポリ A 末端を欠き、代わりに回文配列終結要素を含みます。この遺伝子は、染色体 6p22-p21.3 の大きなヒストン遺伝子クラスターに存在します。 [RefSeq 提供、2015年 8月]

## 研究分野

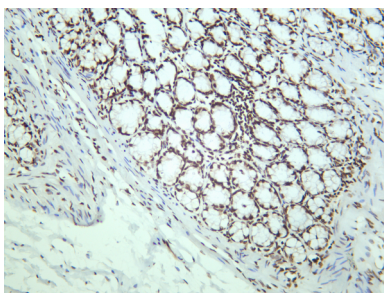
## 画像データ



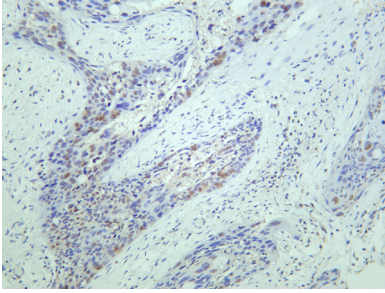
様々な全細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を抗ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) 抗体でブロッティングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。



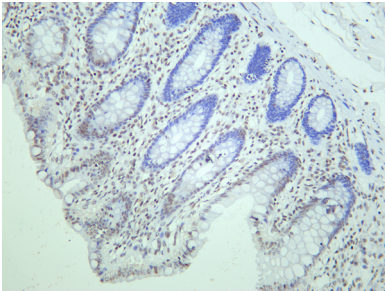
マウス結腸を抗ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) ウサギ抗体で染色した。



ラット結腸を抗ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) ウサギ抗体で染色した。



ヒト子宮頸癌は抗ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) ウサギ抗体で染色された。



ヒト結腸を抗ヒストン H3 (トリメチルリジン 4) ウサギ抗体で染色した。